©日本経済新聞社2006

日経産業新聞
NIKKEI BUSINESS DAILY
2006年(平成18年)
6月26日
月曜日

ww.nikkei.co.jp/ ■日経産業新聞ホームページ http://ss.nikkei.co.jp/ss/ ■購読のお申し込み 0120-21-4946 http://www.nikkei

工程間はモ
ーターなど
(44)。最短二日でライ
改造が可能だ。ライン
自在に組み替え、柔軟
な生産体制を敷けるよう
になり、生産性は三倍以
上に向上。設備も長く使
えるため工場全体の設備
投資は半分に減らせた。
レゴ・ライン導入には

と比べて低く、組み合わ
せ作業は長年、熟練工に
頼っていた。セルを導入
したラインではロボット
を動かすプログラムを現
場作業者がパソコンを使
って書き換え、各セルに
付属している操作盤を通
じて実行させる。

入は十本
ットあたりの生産台数を
十二台から六台に減らす
試みも始め、「理想とす
る完成車工場との同期生
産に一歩近付いた」と鈴
木氏は話すが、現状に満
足はしていない。
「このラインの成果は
分かった。次はどうする
のか」。深谷紘一社長(62)

一部では一ロ

ネクストコム

ICタグで児童確認

保護者に通知 CATV網を活用

通信機器販売のネクストコムはCATV(ケーブルテレビ)会社と組み、無線ICタグ(名札)を使って児童の所在を確認するシステムの販売を始める。CATV会社が持つ地域通信網を活用し、校内だけでなく通学路や周辺の公園などでも子供の居場所を確認できる。保護者にはホームページやメールで通知する。来年度までに百件の販売を見込んでいる。

ネクストコムはまず蕨ケーブルビジョン(埼玉県蕨市、池田政吉社長)と共同で同市内の二校の小学校にシステムを納入する。学区内の三十カ所にICタグ読み取り装置を設置。百人の児童にはタグを配布する。七月から運用テストをはじめ、十月から本格稼働するという。

新システムでは電池を内蔵、自らが電波を発信するアクティブ型と呼ぶICタグを利用する。読み取り装置はCATV用のモデムなどを収容するために電柱の周辺に設置してあるボックスに収めけていれば、それぞれの装置を設置した地点を通過したことを自動的に確認できる。

児童の所在地の情報は保護者がインターネット上の専用サイトで閲覧できる。また何時に校門を出たかといった情報を、メールで受信する設定も可能だ。ネクストコムは各地のケーブルテレビ会社を中心に通信事業者などと連携し、新システムを主に小学校向けに販売する。

ネクストコムは三井物産グループで東証二部上場。データ通信などネットワーク構築を手掛ける。調査会社の富士経済(東京・中央)の調べではICタグを活用した「登下校見守りサービス市場」は〇八年に〇五年比十六倍の三十億円になる見通しだ。

登下校の時刻を携帯電話のメールで保護者に知らせる

大昭和紙工

苗、容器ごと土に

紙加工メーカーの大昭和紙工産業(静岡県富士市、若林茂社長)は、苗を容器ごと土に植えられる紙製育苗ポット「デコポ」=写真=を開発した。三カ月程度で土に分解され、容器を取り外さなくても済むため根を傷めずゴミも減らせる。接着剤を使わず一枚の紙から成形し、生分解樹脂でコに種苗メーカーなどへ売り込む。

製ポット 3ヵ月で分解

不純物が混入しないようバージンパルプのクラフト紙を利用。三菱アルミニウム(東京・港)の技術で一枚の紙を絞り込んで容器型に成形、内側を生分解樹脂で防湿コートした。苗を入れて三カ月間露地に置いても容器が崩れない耐久性を持ちながら、土に埋めれば三カ月間で分解するよう防湿性能を調整した。

直径九センチ、高さ七・五センチで価格は一枚約五円。広く普及する黒いポリエチレン製ポットに比べて割高だが、植え替えが容易なことからホームセンターなどで扱う種苗向け用途開拓も進める。販路は三菱アルミ

街づくり・流通ルネサンス
JAPAN SHO
建築・建材展
フランチャイズ・ショー&ビジネス・エキス

来年3月 東京で 出展社を募集

アジア最大級の展示会として開催します。
(出展要項19面に)
「JAPAN SHOP」では店づくりに関するディスプレー、店舗什器、サインなどを、「建築・建材展」・「エキスポ」(八日まで)ではフランチャイズ本部やニュービジネスなどの出展を募集します。
◇問い合わせ先 日本経済新聞社総合事業部☎03・5255・2847、info@shopbiz.jp、http://www.shopbiz.jp/

展示会「街づくり・流通ルネサンス」「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「フランチャ